

## 千葉県議会議員

# ふじしろ政夫 と共に県政・市政を変えよう！

発行 ふじしろ政夫

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50

Eメール [masao.fujishiro@zc.wakwak.com](mailto:masao.fujishiro@zc.wakwak.com)

政務調査報告ニュース 2012年3月号

TEL & FAX 047-445-9144

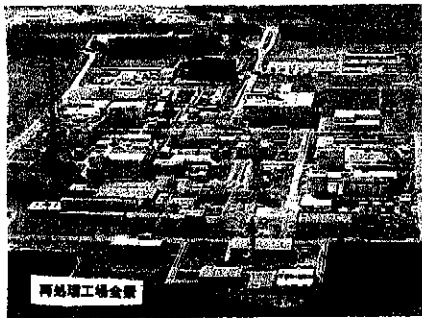
ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

### 現地調査報告



## 六ヶ所村核燃料再処理工場は必要か??

使用済核燃料の再処理によるMOX燃料・プルサーマル原発を推進していいのだろうか？日本の原子力行政の集中している六ヶ



再処理工場全景

所村を視察しました。

原子燃料サイクル事業の日本原燃(株)の現地調査です。正門前で

まず身分証明書でチェック、再処理センターに入るには金属探知器によるチェック。写真禁止ともものしい検査体制です。

むつ小川原開発地区内の740hに①ウラン濃縮工場②低レベル放射性廃棄物処理センター③高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター④使用済核燃料再処理工場が点在しています。従業員4000名のうち60~70%が再処理に従事しているとのこと。その最も重要な再処理の内容とは、使用済み核燃料中に含まれる核分裂生成物(高レベル廃棄物)3%を分離し、プルトニウムとウランを合成してMOX燃料をつくることです。

しかし再処理工場は本格稼働に入る前の“アクティブ試験”でたび重なる事故が発生し、完成時期を延期しているとのこと。3%の高レベル廃棄物をガラス固化する作業がうまくいかない(温度管理がうまくいかない)とのこと。平成21年の1/21、2/1、10/22と高レベル放射性廃液が漏れ出し続けているのです。ストレステストはまだやっていないとのこと。安全性についてどう考えているのか？福島第一原発事故をどう反省しているのだろうか？

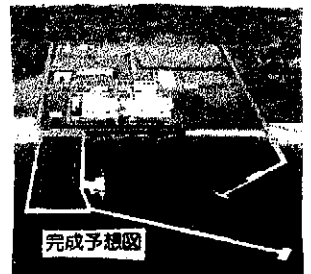
と疑問に思われました。案内をした職員が終始「フランスでは20年間MOX燃料でやっている。だから危なくない。早く追いつきたい」と言っていた言葉の中に日本原燃の安全性に対する考え方を垣間見ることができました。

高レベル放射性廃棄物はガラス固化して30~40年間中間貯蔵とのこと。最終処理方法が解らないので中間です。でも決まってもいない処分場のコストを国民1人に500円負担してもらっているとのこと(国策と独占事業だから?)。

最後に地下100mに作られている低レベル廃棄物に対する地下空洞型余裕深度埋設施設の実験場、MOX燃料工場の建設現場を視察。トラブル続きで2兆円以上に建設費が上がってもプルトニウム(原爆の材料)に執着する巨大な原子力村の一端を見た思いです。

### 東通原発(東電)建設予定地を見る

下北郡東通村に4基の原発建設が進められています。東北電力が2基東京電力が2基計画しています。東北電力の1号炉は平成17年に営業運転を開始していますが、事故点検で現在停止中。東電は138万kwの原発2機を450hの土地に平成32年を目途に建設とのこと。現場はまだ土台の部分の工事に入った程度。福島原発の事故があっても原発建設を目指す東電の姿勢は変わっていません。職員は「下北郡の現地では早く工事をとの要望。7200人の東通村は過疎の村、原発建設が村の存亡に」と説明。東通の道路・学校は交付金で立派です。原発の構造的な問題です。



完成予想図

## “わかしお医療ネットワーク” がつくり出したもの!



東金市で「NPO 地域医療を育てる会」を組織し、東金病院と地域の診療所そして住民との間のネットワークづくりに頑張っている藤本晴枝さんから話を聞く機会がありました。

東金における“糖尿病”への対応が語られました。12年前は糖尿病で足を切断する方が全国平均の5倍。山武医療圏で糖尿病の専門医は3人、インスリンをコントロールできる先生が少ない中、病院と診療所の連携で地域の先生へ治療技術の移転を実施したとのこと。



藤本さん

その結果、「東金病院」で一年一回の受診“電子化地域連携パス”をもって毎月の受診は「かかりつけの診療所」での受診といった循環型地域医療連携をつくりあげ重篤化した患者さんを減らしたとのこと。

藤本さんは住民の医療への意識の転換と参加の必要性も語りました。“地域ぐるみで透析・心筋梗塞・脳梗塞を減らそう”と、電子化診療連携パスで個々人の管理を、疾病管理マップで介入優先度を決めていく地域疾病管理をしているとのこと。まさに地域医療にとって最も大切な「病気予防」「コミュニティの構築」がこのネットワークで造られようとしていたのです。

県病院局第三次中期経営計画案では東金病院の閉院と機能の移転の中でどう「ネットワーク」を引き継ぐのか方向が出されていません。

### 『原発を止める』～人間の倫理として～

2.11 “さようなら原発 1000万人アクション”



が代々木公園で開かれました。大江健三郎さんは、人間が数万年かかって処理できない“核廃棄物”を後世にこれ以上残さないよう「原発をとめること」が人間としての倫理であり希望であると語りました。

## 坂田“残土処分場”搬入路工事へ

館山市坂田地区との間で協定書がありとして、(株)服部回漕店が行う残土処分場の設置が県から認められました。坂田地区の半数以上の方々、隣の波左間の漁師や住民が反対しているにもかかわらず、あの美しい(国定公園の)館山の海へ残土からの排水が流れ込むこととなります。残土処分場予定地を調査しました。

漁業協同組合事務所で坂田、波左間の住民の方々から説明を受けました。館山市が残土処分場になる水路(きれいな沢)の上流部分を、用途廃止し雑種地と変更し33万2000円で服部回漕店に払い下げてしまったことに対し



「住民監査請求」を出したとのこと。

また残土の搬出元が計画でころころ変わる点、大型ダンプが子どもの通学路を通ることの問題が指摘されました。すでに搬入路の工事も始まってました。(沢周辺には戦跡があります)

## 柏市内道路・速度規制へ



柏5中、高田小の通学路ともなっている道に速度規制なし。

柏市街と流山市街を結ぶ通過道路となり、朝夕の交通量が多い。平成21年～23年の間、車と車・人との事故は22件。規制がないので50k/h以上で車が走りまくっている。「危険です。何とかしてほしい」と柏市在住の県民からの要望に応え県警と交渉。県警察より「道路管理者(柏市)に歩道の整備を働きかけると共に、速度規制40k/hを実施する方向」との回答がありました。

### お知らせ

\* いらぬ共通番号制・市民集会

3/21 (水) 18:30～総評会館

\* さようなら原発1000万署名報告集会(予定)

3/24 13:00～日比谷野音

\* 法律弁護士無料相談: 要予約ふじしろ県議へ

3/31 (土) 4/28 (土) 13:00～